図書館だより

第１号

２０１９年４･５月前期号

平成３１年度　令和の図書研修部　教員紹介

榊原典子　先生　　担当教科：英語科

私のお薦めのこの一冊：大﨑　梢、近藤史恵ほか　著　　題名　エール！１

「泣けます。笑えます。元気になれます。」の文字にひかれ購入しました。漫画家、通信講座講師、プラネタリウム解説員、ディスプレイデザイナー、スポーツライター、ツアーコンダクター。作家６人によって書かれたお仕事小説集です。６人の働く女性たちが時に落ち込みながらも自分らしい生き方をみつけていきます。気になる職業の裏側や豆知識も満載です。読書後は、元気になれました。

澁谷　康雄　先生　　担当教科：国語

私のお薦めのこの一冊：鴻上尚史　著　　題名　不死身の特攻兵

９回の特攻命令に対して、どうしても納得できず、爆弾を投下する作戦で功績を上げ、生き抜いた佐々木友次さんに直接インタビューを試みて書かれた本です。戦局悪化に対する軍部の誤った捲土重来の精神論、更に新聞社というマスコミが特攻を美化するなど、優秀なパイロットが失われていく悲劇が描かれています。佐々木さんが、生き延びられたのは、ひたすら空を飛ぶことが大好きであったことと、日露戦争で生還した父の「命を粗末にするな」の言葉でした。

坂元　直樹　先生　　担当教科：商業・情報

私のお薦めのこの一冊：黒田博樹　著　　題名　クオリティピッチング

2016 年、惜しまれつつもプロ野球を引退した黒田博樹選手が書いた「クオリティピッチング」という本です。プロ野球広島カープで 12 年、アメリカメジャーリーグで６年活躍した黒田投手の投球術が余すことなく記されてあります。その奥深く緻密な配球とテクニックには、野球人としてとても関心させられました。また、黒田博樹選手は大阪の上宮高校出身で、いわば私の母校の野球部の先輩にあたります。偉大な先輩から刺激をもらうという意味でも、この本は私にとってとても大切な一冊です。

葉山真吾　先生　担当教科：数学

私のお薦めのこの一冊：　沖島博美　著　　題名　ウィーンのカフェハウス

ウィーンのカフェの種類やケーキの種類など写真付で紹介されています。それに加えてカフェの歴史まで載っています。ウィーンのカフェ事情がこの一冊に詰め込まれています。是非読んでみて下さい。

碧南高校から今年一色高校に異動してきました。教科は数学です。月曜から金曜多分いつでもいると思いますので、図書館の質問や数学の質問や悩み相談など気軽に図書館に来てください。

三矢さゆり　先生　担当教科：国語

私のお薦めのこの一冊：横山泰行　著　　題名　のび太という生きかた

皆さんもよく知っているのび太くん。失敗ばかりでいつもドラえもんに助けてもらっているように感じますが、実は人生の勝ち組であったということを、マンガや映画の場面を取り上げて解説している本です。実は私の息子に読ませようと購入した本なのですが、自分で読んでみると色々気付くことがありました。特別なことをしなくても、考え方・ものの見方で変わるということです。のび太くんも出来たのだから、私も、皆さんもきっと出来ると思います。まずは始めることから。

青山　京子　先生

私のお薦めのこの一冊：渡辺和子　著　題名　面倒だから、しよう

「あたりまえのこと」、時には「つまらないこと」を、心をこめて実行することの大切さが、最近忘れさられています。この本は、一つ一つのことを丁寧に、また、人と接するときも丁寧な対応を心がけることにより、自分が変われば、周りも変わると気づかせてくれた一冊です。今までの生き方を見つめ直し、新たな気持ちで、みなさんがステキな一年を送ることができますように。

図書館に来館した皆さんと出会うことを楽しみにしております。

一年間、よろしくお願いします。